

柏陵

創立八十周年 記念事業を 無事済ませて

同窓会長 戸谷 全克
(旧中二十三回・高一回卒)



昨年十一月二十二日、大勢のご来賓、同窓生、PTA役員、教職員、在校生列席の下、厳肅の中にも和やかな雰囲気、八十周年記念式典が盛大に挙行出来、実行委員長として、大勢の関係者のご協力に心より感謝致しております。

今回の記念事業は、過去(伝統)を称え、現在を見つめ、未来を指向する事を目標と致しました。

幸にも、事業に係わって下さった会員事業者の母校に寄せる熱い思いで、立派な仕事が格段に出来、集め

させて戴いた寄付金で、全ての事業を完成させる事が出来ました。実行委員一同感激致しております。改めて厚く御礼申し上げます。

ここで記念事業の一部につきまして簡単に触れさせて戴きますと、前号に予想図を掲載致しましたが、旧正門の門柱・門扉を修復・復元致しました。一寸見には新築と思われるかも知れませんが、門柱は大正十一年開校時に作られた旧制中学時代の唯一の建築物でございます。門扉は戦時中供出の憂き目にあったもので、当時の写真より復元致しました。この門扉のアーチルヌーボー様式のデザインは、たまたま母校に勤務なされていた河内諒先生の作品で、先生は後に工業デザイナーとして大成し、昭和三十年の西日本物産展で最高賞を受賞。「日本デザイン小史」二九七〇年発行による

発行

県立本庄高校同窓会

会長 戸谷 全克

事務所 本庄市中央1-7-21

戸谷 八内

TEL0495(22)2008

印刷 尚本庄孔版社

と、福岡県大川市では「デザインの神様」と崇められ、記念碑も建つておるそうでございます。この門の北側に懐かしい旧本館の写真を彫りつけた記念碑も建立致しました。裏側に校章のいわれも刻んであります。

また今回特に力を入れたのが創立八十周年記念誌「柏陵」でございます。

中でも自慢致したいのは、旧中一回卒の大木猪四郎先生(医師)より在校生まで、すべての回生の方にご寄稿して戴けた事でございます。

まだ多少残部があるようでございますので、母校事務室へお申し込み下さい。

【二冊に付四千五百円
(送料込み)】

尚、学校側の要望にお応えして、校内の環境向上に寄与し、より一層勉学、運動に励んで貰うべく、視聴覚教室・合宿棟への空調設備も整えさせて頂きました。

八十周年記念事業決算報告 (募金協力者への決算報告書 [平成15年3月末発送済] より抜粋)

収入の部 (単位 円)

科目	決算額
1 寄付募金	25,411,000
2 積立金	6,000,000
3 雑収入	5,524
合計	31,416,524

支出の部 (単位 円)

科目	決算額	科目	決算額	科目	決算額
1 総務費	10,514,065	2 事業費	20,790,604	4 予備費	0
(1) 庶務費	140,608	(1) 工事費 ※	19,076,180	合計	31,416,524
(2) 通信費	1,236,615	(2) 行事費	899,355	※工事費摘要	
(3) 印刷費	9,108,147	(3) 環境整備費	159,764	旧正門門扉復元工事等	
(4) 会議費	25,650	(4) 備品費	655,305	記念碑建立等	
(5) 渉外費	3,045	3 雑費	111,855	視聴覚及び合宿所空調設備工事	
				10,972,500	

上記のとおり報告致します。

平成15年3月24日

埼玉県立本庄高等学校創立八十周年記念事業実行委員会 委員長 戸谷 全克
監査の結果適正に処理され、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成15年3月24日

埼玉県立本庄高等学校創立八十周年記念事業実行委員会 監事 江原 清吉 竹内恵美子 杉田 悦子
監事 山内 典子 渡辺 初江 玉木 章子



創立八十周年記念の各種事業をすべて終え、旧正門前での記念撮影 平成15年2月22日(土)

過去5年間の進路推移

() は現役

	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
国公立4年制大学	6 (3)	13 (7)	13 (10)	7 (5)	13 (5)
私立4年制大学	173 (98)	172 (114)	192 (142)	184 (144)	184 (143)
国公立短期大学	3 (3)	4 (4)	1 (0)	2 (2)	0
私立短期大学	53 (50)	38 (37)	41 (39)	28 (28)	32 (32)
専修・専門学校	98 (83)	88 (81)	83 (77)	97 (92)	108 (101)
公務員・就職	19 (12)	3 (2)	5 (5)	3 (3)	4 (4)
現役総計人数	361	347	356	360	355
4大現役進学数	101	121	152	149	148
4大現役進学率%	30.0	34.9	42.7	41.4	41.7
浪人数	112	102	81	86	71
論入率%	31.0	29.4	22.8	23.9	20.0

*大学、短大、専門学校は進学者数

平成15年春の大学合格状況

国公立大学	現役	浪人	合計	27 十文字学園女子	3	0	3	69 東京農業	1	0	1
1 埼玉	0	1	1	28 淑徳	0	0	0	70 東京福祉	4	1	5
2 群馬	1	2	3	29 順天堂	0	0	0	71 東京薬科	0	0	0
3 新潟	0	1	1	30 城西	5	1	6	72 東京理科	2	0	2
4 筑波	0	1	1	31 城西国際	1	0	1	73 東北文化学園	0	1	1
5 弘前	0	1	1	32 尚美学園	3	0	3	74 東北薬科	0	0	0
6 山形	1	0	1	33 上武	1	0	1	75 東洋	23	9	32
7 会津	0	1	1	34 昭和女子	1	0	1	76 東洋学園	1	0	1
8 高崎経済	0	1	1	35 女子栄養	3	0	3	77 獨協	2	0	2
9 埼玉県立	1	0	1	36 女子美術	0	1	1	78 長岡造形	1	0	1
10 群馬県立女子	1	0	1	37 杉野服飾女子	0	0	0	79 二松学舎	1	0	1
11 東京都立	0	1	1	38 駿河台	2	0	2	80 日本	11	4	15
12 前橋工科	1	0	1	39 諏訪理科	0	0	0	81 日本工業	1	0	1
合計	5	9	14	40 聖学院	1	0	1	82 日本社会事業	0	0	0
				41 成蹊	1	0	1	83 日本体育	1	0	1
				42 成城	2	0	2	84 日本文化	0	0	0
				43 聖徳	4	0	4	85 ネパリアンカニ	2	0	2
				44 西武文理	3	0	3	86 藤田保健衛生	0	1	1
				45 専修	5	1	6	87 文教	3	1	4
				46 仙台	1	0	1	88 文京	0	0	0
				47 創価	0	2	2	89 文京学院	7	0	7
				48 第一薬科	0	0	0	90 平成国際	0	0	0
				49 大正	4	0	4	91 法政	4	3	7
				50 大東文化	22	9	31	92 北海道東海	1	0	1
				51 高崎健康福祉	0	0	0	93 松本歯科	0	0	0
				52 拓殖	7	1	8	94 武蔵	2	0	2
				53 玉川	1	0	1	95 武蔵野音楽	0	0	0
				54 多摩美術	1	2	3	96 武蔵野女子	1	0	1
				55 千葉工業	2	0	2	97 武蔵野美術	1	1	2
				56 中央	3	3	6	98 明治	1	4	5
				57 帝京	1	1	2	99 明治学院	1	1	2
				58 東海	3	4	7	100 明星	1	0	1
				59 東京音楽	0	1	1	101 ものづくり	2	0	2
				60 東京家政	1	0	1	102 酪農学園	2	0	2
				61 東京家政学院	2	0	2	103 立教	1	1	2
				62 東京経済	1	0	1	104 立正	13	4	17
				63 東京工科	1	1	2	105 立命館	0	1	1
				64 東京工芸	0	0	0	106 和光	0	0	0
				65 東京国際	4	1	5	107 早稲田	0	1	1
				66 東京女子体育	1	0	1	合計	213	88	301
				67 東京造形	2	1	3				
				68 東京電機	3	2	5				



進路指導主事
横山 清

平成十四年度の進路状況と
進路部の取組み

平成十四年度の進路状況について、左の表をもとに説明します。
過去五年間の進路の推移は、①現役浪人の四年生進学者数は横ばい、②現役四年生大学進学者は増加、③短大進学者数が大幅に減少、

④専門学校進学者は横ばい、⑤浪人数の減少の傾向が見られます。
私立四年生大学は、生徒減少期の中でも上位・中堅の有名大学への人気が高まり、志願倍率もさらに高くなってきています。人気のない中位・下位の大学への入学は容易になっています。
女子は薬学・医療・看護・

栄養系の資格・実学系の人気が高くなっています。いづれにしても「狭き門」への入学は益々難化傾向を増しています。
そのため、進路指導部では、平成十五年より本格的に「土曜日補習」に取り組んでいます。代々木ゼミナールの衛星授業「サテライン」を導入し、一学期・

夏休みは三年生、二・三学期は二年生、冬休みは一年生に視聴覚室で午前三時間（九十分×二講座）の全国レベルの土曜日補習を実施しています。
確かな学力を身に付け、高い目標に向かってチャレンジできる生徒を育てるため、今後ともご支援ご協力をお願い致します。

平成十五年度
職員異動について

転退職職員	異動先等
菅谷 浩之 校長	(定年)
清水 進 教諭	県立総合教育センター (退職)
山崎 泰彦 教諭	本庄北
銭谷 郁子 教諭	(定年)
藤川 和俊 教諭	寄居
萩原 努 教諭	(任期満了)
海老沼勝義 教諭	(定年)

遠藤 光一 教諭	上尾東
永井 隆夫 教諭	本庄 (非)
	(退職)
高橋 邦男 教諭	(定年)
大塚 俊雄 教諭	(定年)
中村 史子 教諭	妻沼
松村 昭彦 教諭	行田工業
江連 純代	非常勤講師 (任期満了)
島田 孟 主査	行田女子
金子みつ江	事務主任深谷第一

新転入職員	前任校等
植野 明美 校長	県立総合教育センター
我妻光一郎 教頭	熊谷
武藤 昌子 教諭	熊谷市女
秋山三三夫 教諭	深谷商
西尾 信一 教諭	上尾東
井上 尚 教諭	大宮東
逸見 和枝 教諭	深谷第一
吉田 正治 教諭	熊谷工業
高野 庸夫 教諭	本庄養護

萩野 恵 教諭	寄居
西村富士子 教諭	小川
小口 恵美 養護教諭	新任
新田紗恵子 事務主事	新任
永井 隆夫 非常勤講師	
久次米 毅 教諭	(垣内教諭の産休代替)
福井 正倫 担当課長	児玉白楊
阿部 直子 非常勤講師	(新任)

『日常での
感じる』こと、
発見』本庄市議会議員
大沢えり子
(三十九回卒)

早いもので、卒業して約十七年。本高で過ごした三年間は、とても鮮明なまま、心に記されています。このころの自分の将来像は、小学校の教師になりたかったことを思い出します。この夢は「夢」で終わってしまいましたが……。自分の将来像の教師には結びつきませんでした。が、パソコンのイラストレーターという形で、人と接する機会を得ることが出来ました。現在は、インストラクターの仕事と、議員として毎日を過ごしています。

日々の生活の中から、何かを感じるように努力しています。朝起きて、仕事をし、帰宅する。この繰り返しですが、その中から自分自身で何かを見つけられるように努力しています。私自身は、まだまだこの事を

「意識をして」なのですが、何かを感じること、新たな発見を「自然」に見出すことが出来るようになったらと思っています。

どんな小さなことでもいいと思います。仕事なら、自分を含め周りの人たちが、どうすれば気持ち良く出来るか。それが、笑顔の回数かもしれないし、電話での応対に気をつけることかもしれない。また、生活の中でしたら、緑の美しさを感じたり、何か好きな音楽を聴いたりすることかもしれません。

このことを想いながら、本庄の街を歩いてみます。つまり、何か感じることに、新たな発見はないかと思いついてみます。その中で、知らない方と自然に挨拶が出来たり、挨拶だけでなく会話が生まれたりする事で、人の心とのふれ合いから、何か自分自身で役に立てることがないか考えることが多いのです。

自分の日常の中で、何かを感じ、何かを発見出来るようになれば、自分に対してだけでなく、自然と周りの人たちに對しても、優しい気持ちで接することが出来ると思います。自分のためだけでなく、人のために、

地域のために。その輪が広がれば、誰もが心地よい街と感じることが出来ると思います。言葉で発することは簡単ですが、まず出来ることから実践。小さなことから、身近に感じ、発見すること、良いことだけでなく、嫌なことも、それをどう感じ受けとめて、どうしなければならぬか？一つひとつの積み重ねで、毎日をただ過ごさないよう、何か感じ、新たな発見が意識せずに「自然」に出来るようになればと心から思います。

平成14年度収支決算書

自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日

収入の部 (単位 円)			
科目	決算額	予算額	比較増減
平成13年度入会金	755,475	756,000	
平成14年度入会金	725,475		724,950
終身会費	620,000	1,000,000	△380,000
年会費	6,000	100,000	△94,000
寄付金	0	200,000	△200,000
雑収入	194,322	100,000	94,322
合計	2,301,272	2,156,000	145,272

支出の部 (単位 円)			
科目	決算額	予算額	比較増減
総会費	156,253	250,000	△93,747
組織編成費	106,143	500,000	△393,857
記念品費	248,430	257,985	△9,555
母校助成金	50,000	50,000	0
会議費	17,500	50,000	△32,500
通信費	5,430	400,000	△394,570
交際費	85,010	100,000	△14,990
事務雑費	28,030	300,000	△271,970
育英資金支給	50,000	50,000	0
預り金返済	10,000	0	10,000
予備費	0	198,015	△198,015
合計	756,796	2,156,000	△1,399,204

※平成15年3月31日 財産目録 ￥25,379,467

上記監査 監事 江原清吉・竹内恵美子 平成15年6月7日

※平成15年3月31日現在 終身会費納入者数 4,731名

本部・支部役員

役員	氏名	年齢	任期
会長	戸谷 全克	高1	
副会長	立川 大作	中9	
副会長	高木 敏子	女8	
副会長	清水 實中	19	
副会長	塚越 寿衛	高2	
副会長	竹並栄一郎	併中2	
副会長	戸谷洋一郎	高14	
副会長(教頭)	我妻光一郎		
副会長(教頭)	若林 章一		
会計	内野ヨシエ	女16	
監事	清水 正一	高6	
監事	江原 清吉	高4	
監事	竹内恵美子	高6	
顧問(校長)	植野 明美		
宮本町	宮本 義典	高1	
泉町	竹並栄一郎	併中2	
上町	境野 登高	中2	
照若町	岩本 英人	中20	
七軒町	町田 一徳	高5	
仲町	飯塚 能成	高25	
本町	矢代 和正	高6	
南本町	村田敬次郎	中22	
台町	松本 敬一	一定	
末広町	野枝 直治	高5	
諏訪町	山本 重司	中22	
朝日町	(検討中)		
藤田	宮崎 興憲	高4	
仁手	福島 好正	高3	
北旭	亀田 本二	高4	
今井	塩原 暁	高5	
児玉	田辺 守司	高7	
宮部	彰高	14	

支部長会・新年会
総会案内①支部長会・新年会
二月十五日(日)午後三時より
於 五州園②通常総会
六月十九日(土)午後三時より
於 埼玉グランドホテル

本庄

〈お詫び〉

31号に続く終身会費・寄付者等のご芳名につきまして、は、次号に掲載させて頂きますので、ご了承下さい。